科目名	50．在宅療養生活を支える看護				
履修年次	1年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	健康状態に応じた在宅での生活を支える看護を理解することができる				
到達目標	既習の知識を活用し、創意工夫しながら、健康状態に応じた在宅療養生活を支える看護を表現することができる				
評価方法	筆記試験（70点）・学習到達度基準を用いたレポート評価（30点）による総合評価を行う				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護の基盤　地域・在宅看護論Ⅰ　医学書院 系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護の実践　地域・在宅看護論Ⅱ　医学書院				
参考文献	地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア　ナーシング・グラフィカ　MCメディカ出版 地域・在宅看護論②　在宅療養を支える技術　ナーシング・グラフィカ　MCメディカ出版				
教育方法と学生への期待 (求めること)	健康レベルに応じた在宅での生活を支える看護を学んで欲しい。対象者は地域・在宅で療養生活している生活者およびその家族です。その対象を取り巻くリスクと安全対策について考える必要があります。その上で基本的看護技術を活用して、在宅療養生活での創意工夫した看護を考えていきましょう。家庭にあるものを使って日常生活の援助を実施します。福祉用具の見学にも行きますので、それらを活用しよりよい在宅療養生活の支援についても考えましょう。				

回	学習項目	学習内容	授業 方法
1	地域・在宅看護の展開①	地域・在宅看護の対象者の理解と看護	講義
2	地域・在宅看護の展開②	地域・在宅看護の展開ポイント 地域・在宅看護の展開方法 国際生活機能分類（ICF）の考え方	講義
3	在宅における備えと対処①	療養上のリスクマネジメント① 災害に対する準備と対応	講義
4	在宅における備えと対処②	療養上のリスクマネジメント②	講義 演習

5	在宅療養生活の支援①	在宅療養生活を支える福祉用具	演習 （学外）
6	在宅療養生活の支援②	在宅療養生活を支える福祉用具	演習 （学外）
7	在宅療養生活の支援②	在宅療養生活を支える福祉用具の活用	演習
8	在宅生活を支える看護①	移動・移乗に関する在宅看護技術① 食生活・嚥下に関する在宅看護技術①	講義 演習
9	在宅生活を支える看護②	移動・移乗に関する在宅看護技術② 食生活・嚥下に関する在宅看護技術②	演習 （実習室）
10	在宅生活を支える看護③	排泄に関する在宅看護技術① 清潔に関する在宅看護技術①	講義 演習
11	在宅生活を支える看護④	排泄に関する在宅看護技術② 清潔に関する在宅看護技術②	演習 （実習室）
12	日常生活への看護技術の応用①	在宅での清潔援助技術（入浴・洗髪）	演習 （実習室）
13	日常生活への看護技術の応用②		演習 （実習室）
14	健康レベルに応じた在宅での看護①	在宅看護介入時期の特徴 介入時期と看護の継続性	講義
15	健康レベルに応じた在宅での看護②	事例から在宅での看護を考える	講義 演習